

事前質問に対する回答

No	資料	該当箇所	質問者	回答者	質問・回答	内容
1	第1回モニタリング委員会 資料4	No3	澤井委員	運営権者	質問	来館者へのアンケート方法について、来館者に対して HP 上でアンケートを実施しているが、これは来館時にその場で HP に記入してもらっているものか。また、来館時のイベントにもよと思うが、イベントごとの分析はされているか。回答数が少ない気がするが、どのくらいの回答数を目標としているか。
					回答	アンケートの運用について、有明アリーナの HP より随時回答いただけるようにしています。よって、地域住民など有明アリーナに直接来館していない方からの意見等も収集可能な運用としております。 アンケート結果について、イベントの区分に起因した傾向のようなものは見受けられませんが、毎月のモニタリング委員会で、自由回答の集計内容を関係者間で確認・共有し、適宜運営・維持管理業務へ反映するとともに、具体的なイベントが特定できるものについては、内容に応じて主催者へのフィードバックを実施しています。 回答数について、本アンケートはイベント内容ではなく、有明アリーナの管理運営へのフィードバックを目的としたものであるため、イベント来館者全員へ回答を依頼していないこともあり、回答数は減少しております。回答数の具体的な目標値は定めておりませんが、各主催者への負担を増加させないため、都民開放 DAY など有明アリーナの自主事業に参加いただいた来館者には、アンケート協力の周知を行っていきたいと考えております。
2	第1回モニタリング委員会 資料4	No4	澤井委員	運営権者	質問	各公式 SNS の登録者数、フォロワー数、閲覧数などのデータとその目標値、目標に対する達成度などについて教えて欲しい。
					回答	ジムの SNS について、令和6年6月末時点での各登録者数等は以下となります。 ①Line…友だち登録数 436 名、②インスタグラム…フォロワー376 名、③X…フォロワー 303 名

						<p>閲覧数は、アップする内容に寄りますが、200～8,000 回程度となっております。各 SNS で 1,000 フォロワーを目指しており、現状のフォロワー数で都度利用者が月 500～600 名ですので、1,000 フォロワーで月 800～900 名の都度利用者のご来場が見込めるかと考えております。</p> <p>レストランの SNS について、令和6年6月末時点で X のフォロワー数は 470 名となります。閲覧数はコンサートに応じて、2,000～20,000 回程度と幅広くなっており、最大 14 万回となっております。フォロワー数の目標値は定めておりませんが、アーティストによる告知もあり、令和6年1月時点では 250 名だったフォロワー数が半年で約2倍となるなど、堅調に伸びていると考えております。</p>
3	第1回モニタリング委員会 資料4	No8	千葉委員	運営権者	質問	ジム・スタジオ運営について、新たな取り組みにより年間約 6,500 人が来場されたとのことですが、取組み前と比較した利用者数の推移を教えてください。
					回答	令和4年度は年間約 1,200 人の利用者数でしたが、令和5年度は業務進捗状況に記載の取組に加え、SNS で有明アリーナ内にジムが有ることの告知、東雲、豊洲、近隣駅等でのチラシ配布、イベント来館者の動線へジムの案内を明示するなど、少しずつ認知度が向上したことに起因し、年間約 6,500 人に利用いただきました。
4	第1回モニタリング委員会 資料4	No9	笹井委員	運営権者	質問	レストランの魅力度向上に向けて、令和5年度に実施されたこと、そしてその効果について、「業務進捗状況」に記載された内容以外にあれば教えてください。
					回答	<p>SNS でイベント毎におすすめメニューや公演限定メニューの告知を実施しております。また、開演前、終演後にもファン同士の集いなどご利用いただける事も広く告知しております。</p> <p>近隣には子供たちのクラス会や誕生日会など貸切で利用できる会場が少なく、イベント開催時以外の利用を促進するため、貸切パーティーのご案内を記載した POP を店内に掲示するとともに、SNS でもアピールし、幅広く利用いただいております。</p>
5	第1回モニタリング委員会 資料4	No9	笹井委員	運営権者	質問	デジタルツインが主催者にどの程度利用され、どのような評価につながっているのか、教

	グ委員会 資料4					えて欲しい。
					回答	2024年3月に導入したばかりで、まだ利用実績はありませんが、主催者の利用促進に繋げて参ります。
6	第1回モニタリング委員会 資料4	No13	山口委員	運営権者	質問	整備済みの棧橋について、今後の活用見込みを教えてください。
					回答	現在は、イベント毎のチャーター便での利用がメインですが、ニーズがあれば定期船を受け入れる準備を整えております。また、足漕ぎSUP・カヤックなどの実証実験を実施しており、海上アクティビティの拠点としての可能性も模索しております。
7	第1回モニタリング委員会 資料4	別紙2	千葉委員	運営権者	質問	大規模スポーツ大会では、ボクシングを含む格闘技のイベントの割合が高いようだが、大規模スポーツ大会の誘致計画において、競技種目のバランスは考慮されているか。その他、誘致にあたっての考慮要素があれば教えてください。
					回答	大規模スポーツ大会の誘致に際して、様々な競技が実施できるよう誘致を進めております。なお、格闘技イベントは打診から実施までの誘致期間が短く、利用日数も少ないことから、他のスポーツ大会の利用状況を加味して誘致を行っております。
8	第1回モニタリング委員会 資料4	別紙2	山口委員	運営権者	質問	大規模スポーツ大会17大会の利用日数は何日か。大規模スポーツ大会について、毎年本施設で開催しようと思っている競技や新しく誘致を検討している競技があれば教えてください。
					回答	大規模スポーツ大会の利用日数(準備日含む)は57日となっています。バスケットボール(Bリーグ)などの継続誘致と、新規でバレーボール(Vリーグ)、体操なども利用に向けた協議を行っています。
9	第1回モニタリング委員会 資料4	別紙3	千葉委員	運営権者	質問	搬出入車両に対する対応状況やその効果について教えてください。
					回答	令和5年度は、主催者の搬出入車両が都道に待機しないよう以下の取組を実施しております。 ①主催者に対し、作業開始時間に合わせた到着を繰り返し指導 ②警備員等による作業時間前の巡回を実施し、待機車両を発見次第、速やかに館内へ

						<p>車両を誘導</p> <p>また、周辺道路の環境改善に向けても積極的に取り組んでおります。</p> <p>令和6年度は定期巡回を追加で行うとともに、複数回の待機を行った運送事業者が生じた場合、電話による改善を行うなど、対策を強化しております。</p> <p>対策の効果は一朝一夕に測ることは難しいため、中・長期的な運営を見越して、上記の対策を地道に繰り返し、真摯に取り組むことが改善に向けた第一歩だと考えております。</p>
10	第1回モニタリング委員会 資料5	No6	山口委員	運営権者	質問	<p>イベント時における施工や運営での事故トラブル事例の報告会など昨年度の回答にあった安全配慮に係る研修がないように見受けられるが、安全配慮に係る研修の予定、令和6年度の研修の計画(研修の内容、対象者、期間)について、教えて欲しい。</p>
					回答	<p>安全配慮に係る研修について、外部講師による「研修」という形態ではなく、有明アリーナ関係者間において、設営業務管理責任者主導で月1回の事故トラブル報告会及び改善検討会を実施しています。こちらは令和6年度についても継続実施予定です。</p> <p>その他、令和6年度の研修計画について、以下を予定しております。</p> <p>①対象者:有明アリーナ常駐スタッフ全員</p> <p>②内容:メンタルヘルスに関する研修</p> <p style="padding-left: 40px;">イベント設営等に関連する法令(建設業法等)の基礎知識習得に係る研修</p> <p style="padding-left: 40px;">※新規配属者に対しては、DEI研修、コンプライアンス研修、情報セキュリティ研修等の既存スタッフが受講した研修も実施予定</p> <p>③期間:令和6年度中に全スタッフが受講できるよう随時実施</p>
11	第1回モニタリング委員会 資料5	No7	山口委員	運営権者	質問	<p>自動販売機の増設以外の熱中症対策はあるか。施設来館者の中で熱中症による体調不良者は出ていないか、出ていた場合、どのような対応を行ったか教えて欲しい。</p>
					回答	<p>主催者に対し、スポットクーラーのレンタルを実施しています。体調不良者は主催者手配の看護師管理の下、救護室で休憩してもらい、なお具合が悪い場合は救急車の手配を行っています。(令和5年度は救急車による搬送は1件のみ)</p>